

高校生のオンライン学習に関する意識調査報告書〔概要〕

—日本・米国・中国・韓国の比較—

このたび、国立青少年教育振興機構では、令和元年9～11月に高校生を対象として実施した標記の国際比較調査の結果を取りまとめたので報告する。

日本の高校生の主な特徴 ※（ ）内は本概要の掲載ページ

1 オンライン学習の経験率が低い

日本の高校生は、オンライン学習（「スマートフォンやパソコンなど、インターネットを利用した学習サービス」で学ぶこと）をしたことが「ある」と回答した割合が48.8%で、米国70.8%、中国58.3%、韓国72.4%に比べて4か国中最も低い。

また、オンライン学習をする時間について、日本の高校生は1週間に「1時間未満」と回答した割合が6割弱と4か国中最も高く、「3時間以上」と回答した割合が1割強と、米・中・韓に比べて低い。→(p.4)

2 オンライン学習をしない主な理由は「どんなサービスがあるかわからない」「インターネットで学習する必要性を感じない」である

日本の高校生のオンライン学習をしない理由については、「どんなサービスがあるかわからない」が35.7%、「インターネットで学習する必要性を感じない」が35.0%と高い。なお、「どんなサービスがあるかわからない」は4か国中最も高く、「学習の効果が期待できない」「よい内容がない」「設備や機器をもっていない」の割合がいずれも4か国中最も低い。→(p.5)

3 オンライン学習をする主な理由は「試験のため」である

日本の高校生は、オンライン学習をする主な理由として、「試験のため」と回答した割合が最も高いが、4か国の中では最も低い割合となっている。「授業の補習のため」「学びを深めるため」「授業の予習のため」「趣味の学習をするため」「先生に勧められたため」「親に勧められたため」「友だちがしているため」と回答した割合も米・中・韓に比べて低い。→(p.6)

4 学校の授業などでインターネットの活用が米・中・韓より少ない

日本の高校生は、「先生はインターネット上の勉強に関する様々な情報を紹介してくれる」「先生はインターネットを活用した授業をする」「先生はインターネットを利用する宿題を出す」「先生はインターネットで勉強する方法や技術を教えてくれる」「先生はウェブサイトを通して、予習や復習を指導する」について、「よくある」「時々ある」と回答した割合が、いずれも米・中・韓に比べて著しく低い。→(p.7)

5 保護者は子どものインターネットの利用についてかかわりが少ない

日本の高校生は、「親(保護者)は私がインターネットでどのように勉強しているか知っている」「インターネットでの学習について親(保護者)と話し合う」「親(保護者)は私が利用しているインターネットの内容をチェックする」について、「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合が米・中・韓に比べて著しく低い。→(p.8)

6 オンライン学習を取り入れている高校生のほうがふだん、自ら進んで勉強している

4か国ともオンライン学習の経験者のほうが「勉強した内容を理解するために、教科書以外の本を読んだりする」「授業の内容を復習する」「自分で学習の計画や目標を立てる」「勉強したことを自分なりに整理したり、まとめたりする」「勉強した内容を理解するために、宿題のほかにも自分で練習問題などを解いたりする」について、「いつもしている」と回答した割合が顕著に高い。→(p.9～)

【問い合わせ先】

国立青少年教育振興機構 青少年教育研究センター 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL : 03-6407-7741 FAX : 03-6407-7689 Email kenkyu-soumu@niye.go.jp

・考察(要旨)

国際比較に基づく学校教育におけるオンライン学習の導入に関する試論

和洋女子大学人文学部心理学科 准教授 池田 幸恭

国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター客員研究員

本調査の2次分析を行った結果、日本、米国、中国、韓国すべての高校生で学校でのインターネットを利用する学習を取り入れることに前向きであるほど、体験への積極性もみられることが示唆された。一方で、現在の学習方法にある程度慣れている日本の高校生は、学校でインターネットを利用する学習を取り入れることへ抵抗感を示す場合もあることが考えられた。さらに、各国におけるオンライン学習の形態や利用の仕方が異なる可能性にも留意する必要がある。

日本の学校教育におけるオンライン学習の導入について、次の3点を提案する。第1に、学校でインターネットを利用する学習を取り入れることへ抵抗感を示す高校生に、現在の学習方法とオンライン学習の橋渡しを行うことである。第2に、オンライン学習への個人による取り組みと他者とのやり取りをつなげることである。第3に、オンライン学習の経験が卒業後のインターネットの活用にもつながることを視野に入れることである。

オンライン学習は、インターネットを利用することによって、生涯をとおして継続的で多様な形態での学習を可能にする。平成29・30(2017・2018)年改定の学習指導要領では、生徒自身が問題を発見し、解決するという探究の過程が重視されている。日本の学校教育におけるオンライン学習の導入にあたって、青少年が生涯にわたって学び続けることのできる力を育てることが大切であると考えられる。

◎追加分析の全文は報告書のp.39～に掲載しております。

調査の概要

1 調査の目的

インターネットの普及に伴い、オンライン学習サービスを利用する人が増えている。本調査は、高校生のオンライン学習（「スマートフォンやパソコンなど、インターネットを利用した学習サービス」で学ぶこと）をめぐる意識や実態を把握することを目的としている。また、オンライン学習の経験者と未経験者が自分自身についての評価やふだんの勉強の仕方においてどのような違いがあるかについても検討する。

調査は米国、中国、韓国でも同時に実施する。諸外国と比較することで、日本の特徴や課題を分析し、インターネット時代の青少年教育の在り方を模索するための基礎データを提示する。

2 調査方法等

調査時期、調査対象などは次のとおりである。

| | 日本 | 米国 | 中国 | 韓国 |
|-----------|-------------|----------------------|---------------------------------|---------------------|
| 調査機関 | 国立青少年教育振興機構 | 一般財団法人日本児童教育振興財団(委託) | 中国青少年研究センター | ソウル YMCA、韓国多文化青少年協会 |
| 調査時期 | 2019年9月～11月 | 2019年9月～11月 | 2019年9月～11月 | 2019年9月～11月 |
| 学校数 | 20 | 16 | 24 | 32 |
| 調査地域 | 17 | 15 | 6 | 8 |
| 調査方法 | 集団質問紙法 | 集団質問紙法 | WEB調査 (学校でパソコンやスマートフォンなどで回答) | 集団質問紙法 |
| 有効回答者数(票) | 2204 | 1521 | 3903 | 1618 |

3 調査対象者の基本属性

(%)

| | | 日本 | 米国 | 中国 | 韓国 |
|-------|-----------|------|------|------|------|
| 性別 | 男 | 43.0 | 47.0 | 46.0 | 46.3 |
| | 女 | 55.1 | 51.3 | 54.0 | 53.4 |
| | どちらとも言えない | 1.2 | 1.3 | - | - |
| | 無回答 | 0.7 | 0.4 | 0.0 | 0.3 |
| 学年 | 高1 | 34.2 | 34.3 | 35.9 | 45.4 |
| | 高2 | 32.4 | 35.2 | 38.6 | 49.9 |
| | 高3 | 32.6 | 30.4 | 25.5 | 4.6 |
| | 無回答 | 0.8 | 0.1 | 0.0 | 0.1 |
| 実数(人) | | 2204 | 1521 | 3903 | 1618 |

4 調査結果からみる日本の高校生の特徴

1) オンライン学習の経験率が低い

日本の高校生は、オンライン学習をしたことが「ある」と回答した割合が48.8%と、韓国72.4%、米国70.8%、中国58.3%に比べて4か国中最も低い。

また、オンライン学習をしたことが「ある」と回答した者に対し、オンライン学習をする時間についてたずねている。日本の高校生は、1週間に「1時間未満」と回答した割合が58.0%と4か国中最も高い。「3時間以上」（「3～5時間未満」～「10時間以上」）と回答した割合が、米・中・韓とも35%以上であるのに対し、日本は12.8%と低い。

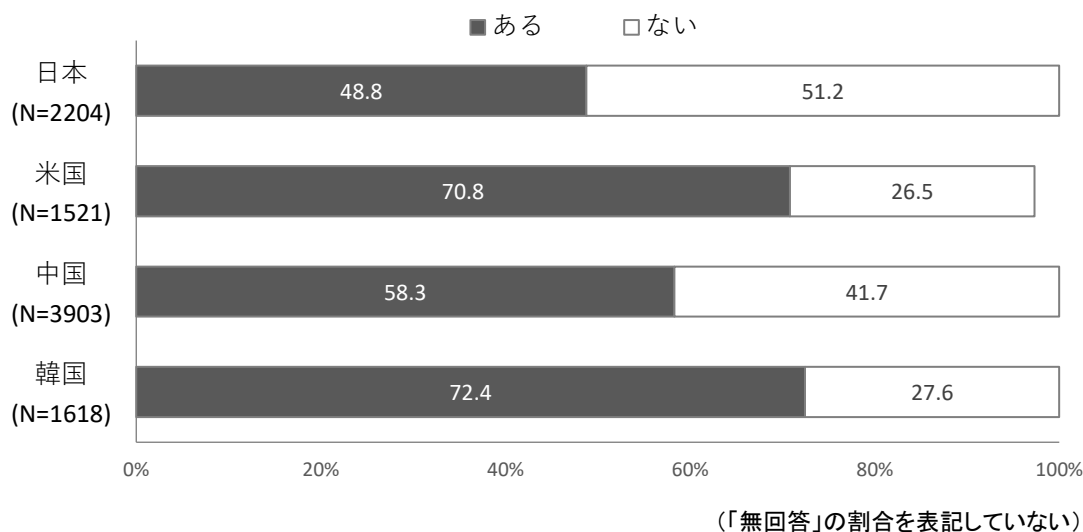


図1 オンライン学習(無料、有料を問わず)をしたことがあるか

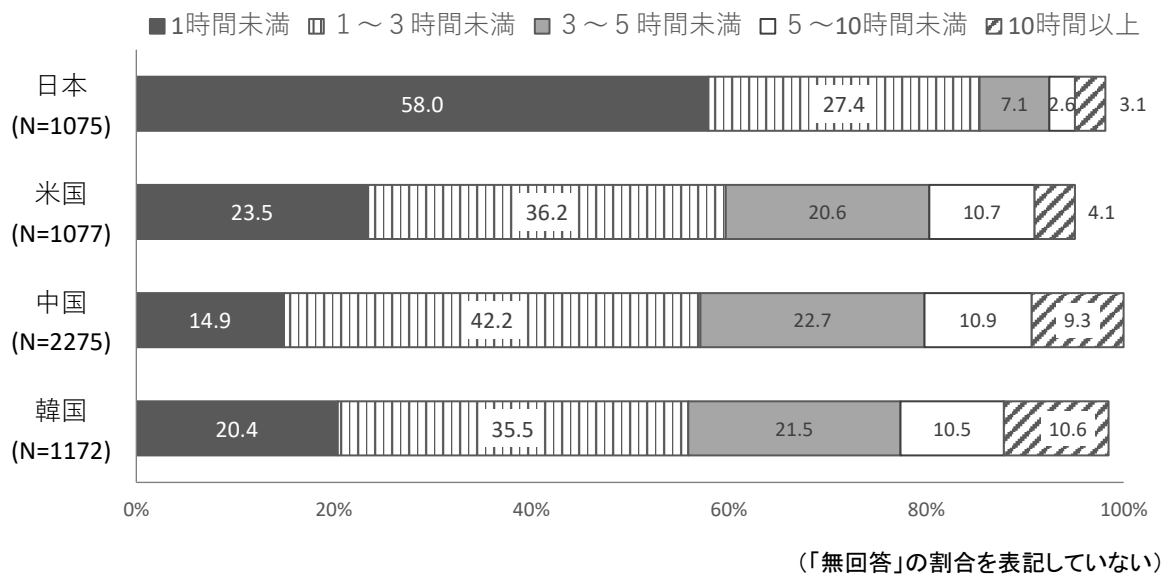


図2 <オンライン学習をしたことが「ある」と回答した者>1週間にどのくらいオンライン学習をしているか

2) オンライン学習をしない主な理由は「どんなサービスがあるかわからない」「インターネットで学習する必要性を感じない」である

オンライン学習をしたことが「ない」と回答した者に対し、オンライン学習をしない理由を複数回答でたずねている。日本の高校生は、「どんなサービスがあるかわからない」と回答した割合が35.7%で最も高く、次いで「インターネットで学習する必要性を感じない」(35.0%)である。なお、「どんなサービスがあるかわからない」の割合は4か国中最も高く、「勉強に集中できない」「学習の効果が期待できない」「情報が多すぎる」「よい内容がない」「設備や機器をもっていない」「親(保護者)が反対する」「先生が反対する」といった項目の割合がいずれも4か国中最も低い。

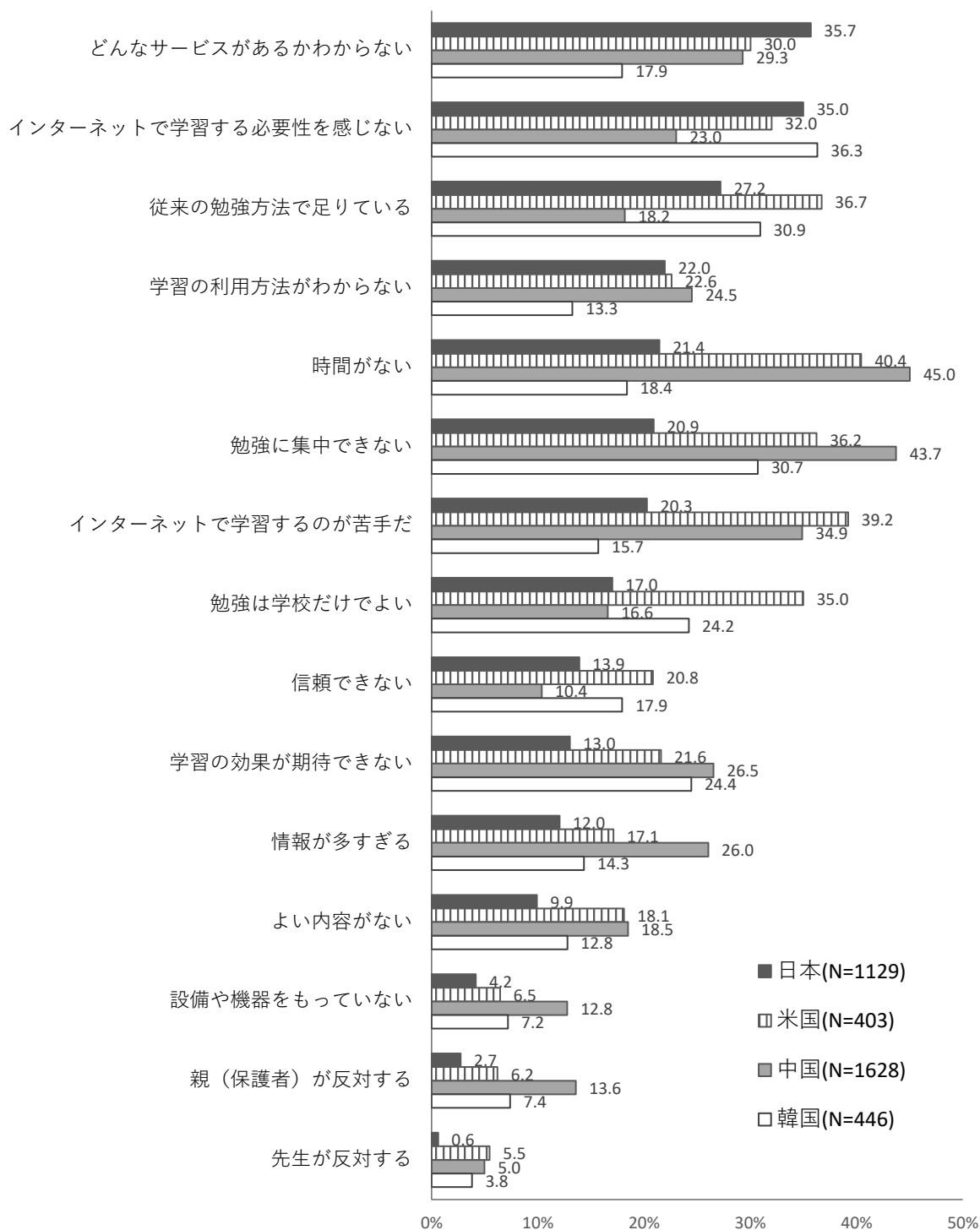


図3 <オンライン学習をしたことが「ない」と回答した者>オンライン学習をしない理由(複数回答)

3) オンライン学習をする主な理由は「試験のため」である

オンライン学習をしたことが「ある」と回答した者に対し、オンライン学習をする主な理由を複数回答でたずねている。日本の高校生は、「試験のため」と回答した割合が最も高く、次いで「授業の補習のため」である。但し、2項目とも4か国中最も低くなっている。「学びを深めるため」「授業の予習のため」「趣味の学習をするため」「先生に勧められたため」「親に勧められたため」「友だちがしているため」と回答した割合も米・中・韓に比べて低い。

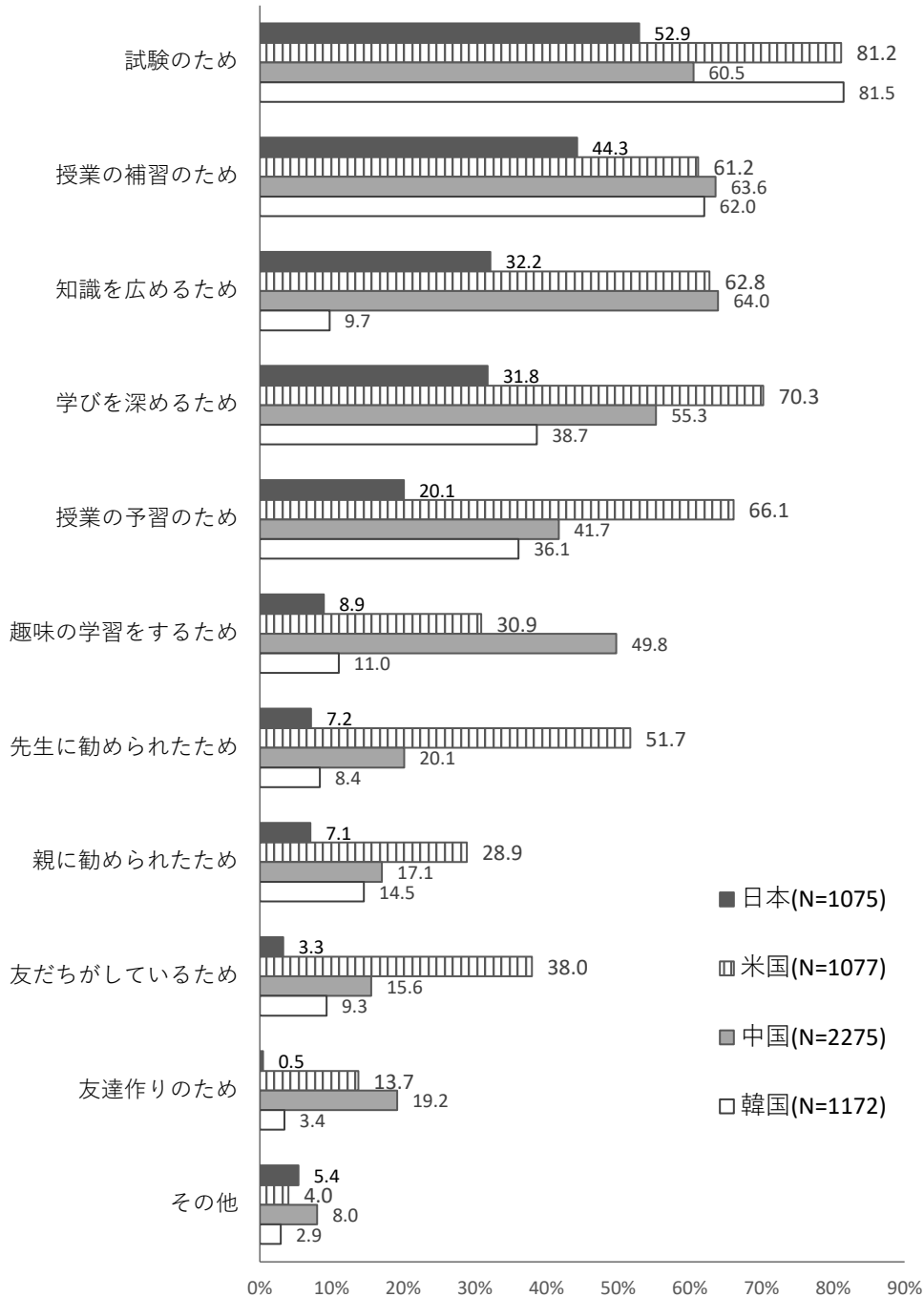


図4 <オンライン学習をしたことが「ある」と回答した者>オンライン学習をする主な理由(複数回答)

4) 学校の授業などでインターネットの活用が米・中・韓より少ない

日本の高校生は、「先生はインターネット上の勉強に関する様々な情報を紹介してくれる」「先生はインターネットを活用した授業をする」「先生はインターネットを利用する宿題を出す」「先生はインターネットで勉強する方法や技術を教えてくれる」「先生はウェブサイトを通して、予習や復習を指導する」について、「よくある」「時々ある」と回答した割合が、いずれも米・中・韓に比べて著しく低い。

また、「学校でインターネットを利用する学習を取り入れてほしいか」に対し、「ぜひ取り入れてほしい」「どちらかといえば取り入れてほしい」と回答した割合が 66.4%でほかの3か国と大きな違いが見られなかった。

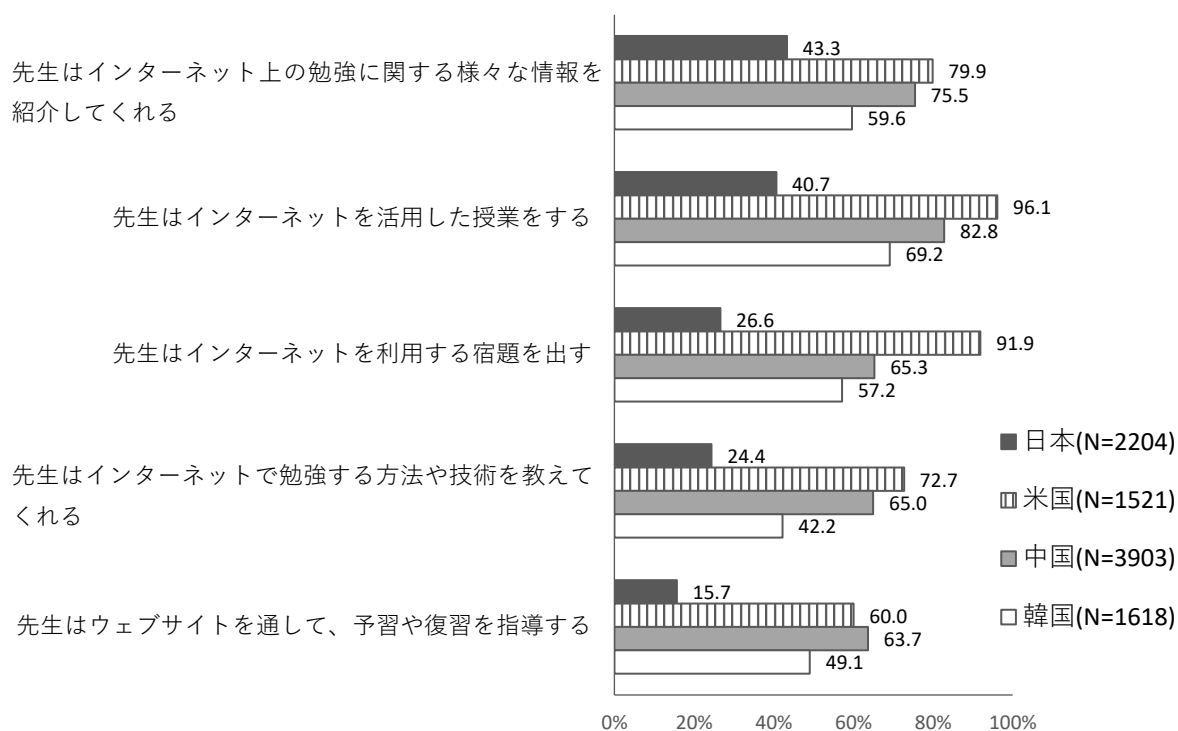


図5 あなたの学校で、次のようなことがどのくらいあるか(「よくある」「時々ある」と回答した割合)

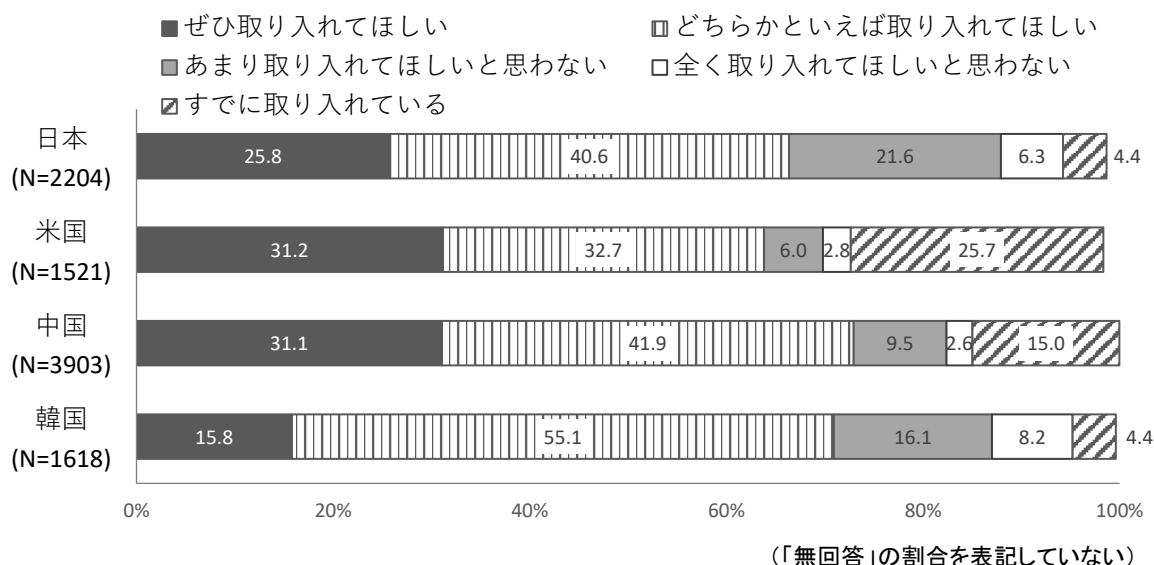


図6 あなたは学校でインターネットを利用する学習を取り入れてほしいですか

5) 保護者は子どものインターネットの利用についてかかわりが少ない

日本の高校生は、「親（保護者）は私がインターネットでどのように勉強しているか知っている」「インターネットでの学習について親（保護者）と話し合う」「親（保護者）は私にインターネットでの学習を薦める」「親（保護者）は私が利用しているインターネットの内容をチェックする」について、「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合が、いずれも米・中・韓に比べて著しく低い。

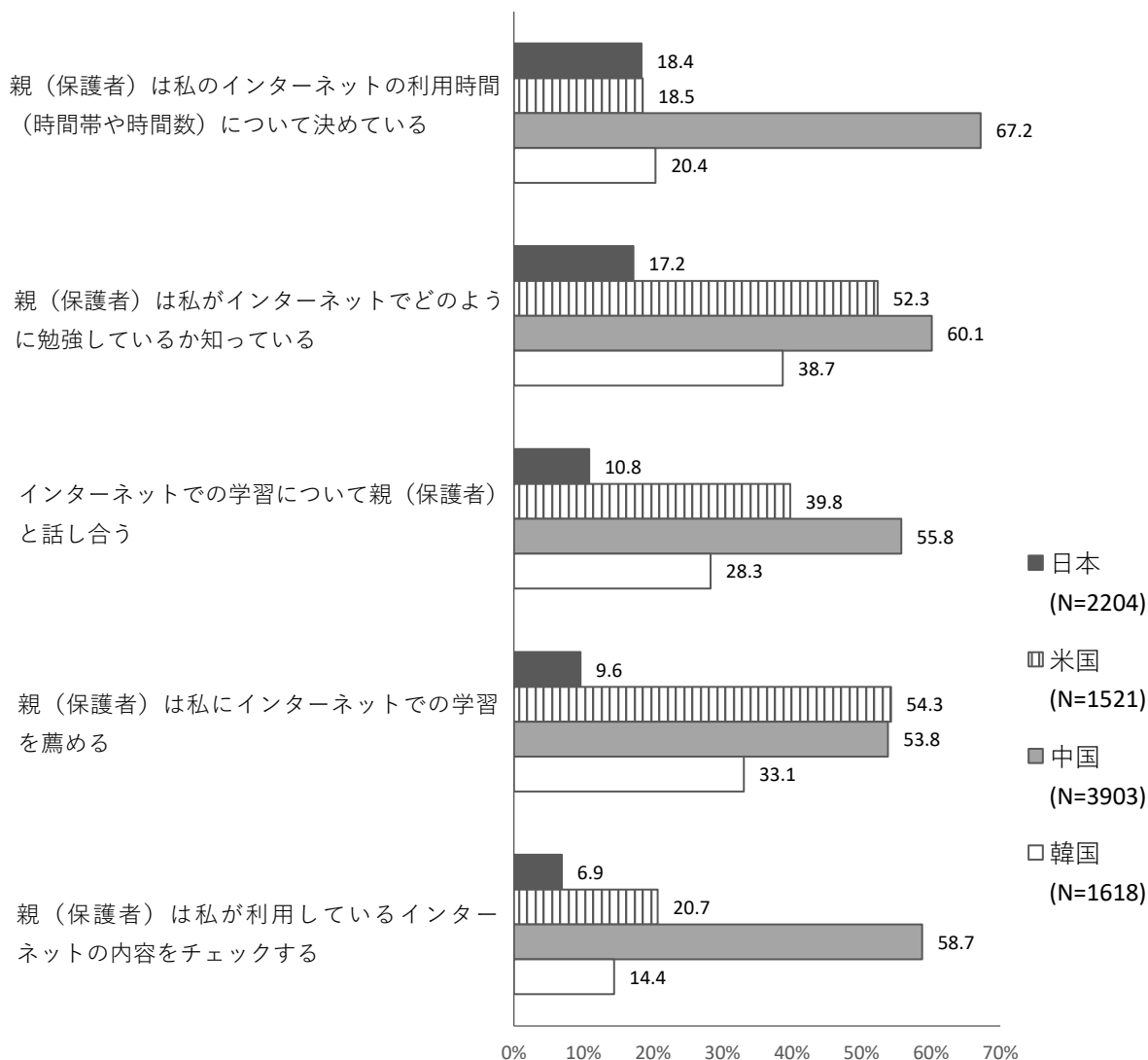


図7 保護者とのかかわり（「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した者の割合）

6) オンライン学習を取り入れている高校生のほうがふだん、自ら進んで勉強している

4か国ともオンライン学習の経験者のほうが、ふだん、「勉強した内容を理解するために、教科書以外の本を読んだりする」「先生や友達と勉強について話し合う」「授業の内容を復習する」「自分で学習の計画や目標を立てる」「勉強したことを自分なりに整理したり、まとめたりする」「勉強した内容を理解するために、宿題のほかにも自分で練習問題などを解いたりする」について、「いつもしている」と回答した割合が顕著に高い。

また、日本の高校生は、オンライン学習の経験者のほうが、「いつも新しいことに挑戦している」「わからないことを自分で考えたり、調べたりするのが好きだ」について、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合が高い。

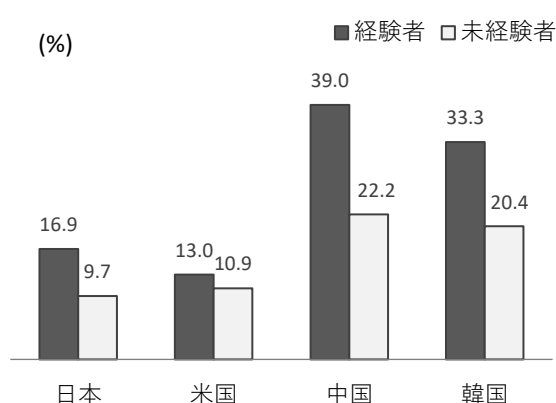


図8 オンライン学習の経験の有無×「勉強した内容を理解するために、教科書以外の本を読んだりする」(「いつもしている」と回答した割合)

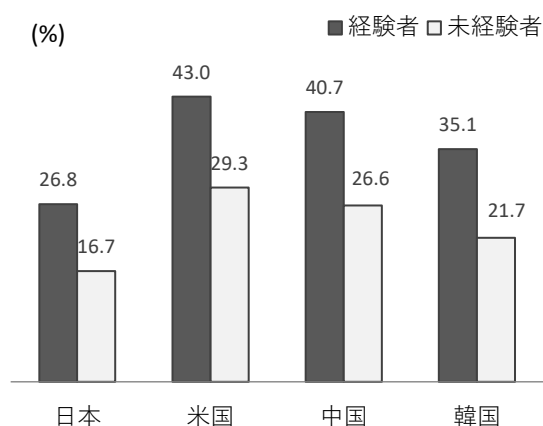


図9 オンライン学習の経験の有無×「先生や友達と勉強について話し合う」(「いつもしている」と回答した割合)

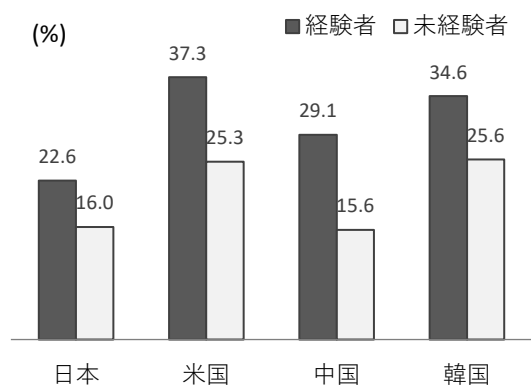


図10 オンライン学習の経験の有無×「授業の内容を復習する」(「いつもしている」と回答した割合)

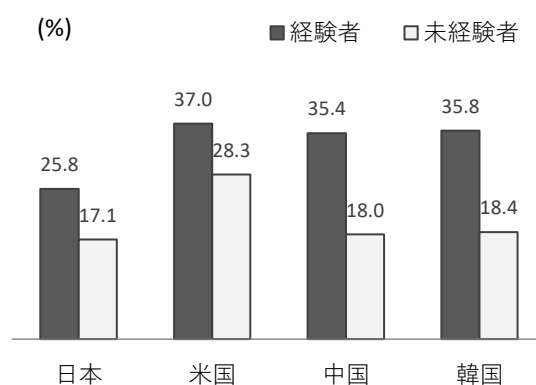


図11 オンライン学習の経験の有無×「自分で学習の計画や目標を立てる」(「いつもしている」と回答した割合)

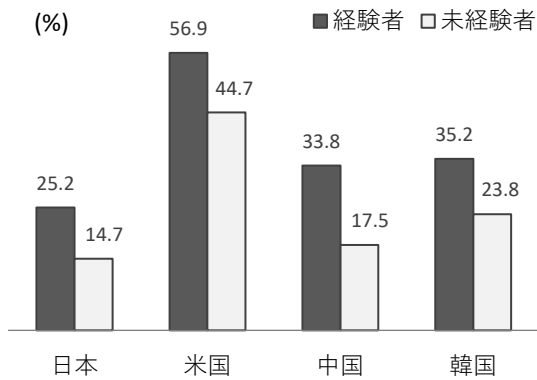


図 12 オンライン学習の経験の有無×「勉強したことを自分なりに整理したり、まとめたりする」「いつもしている」と回答した割合

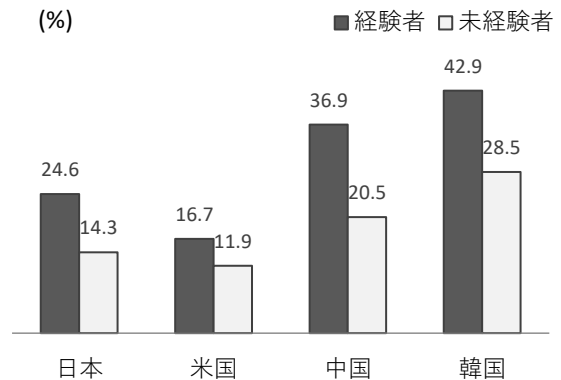


図 13 オンライン学習の経験の有無×「勉強した内容を理解するために、宿題のほかにも自分で練習問題などを解いたりする」「いつもしている」と回答した割合

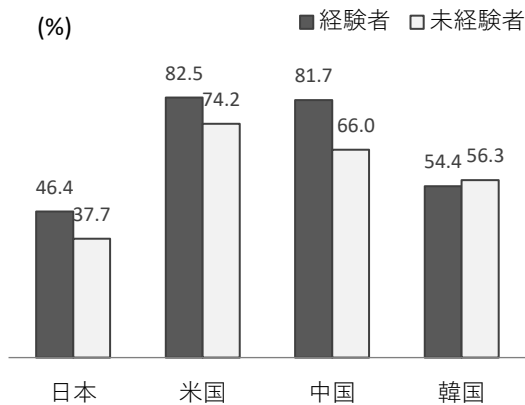


図 14 オンライン学習の経験の有無×「いつも新しいことに挑戦している」「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合

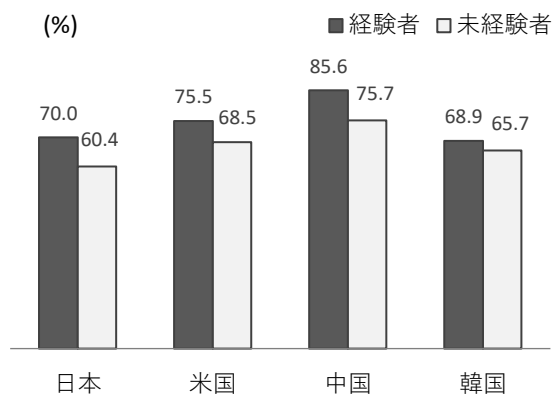


図 15 オンライン学習の経験の有無×「わからないことを自分で考えたり、調べたりするのが好きだ」「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した割合